

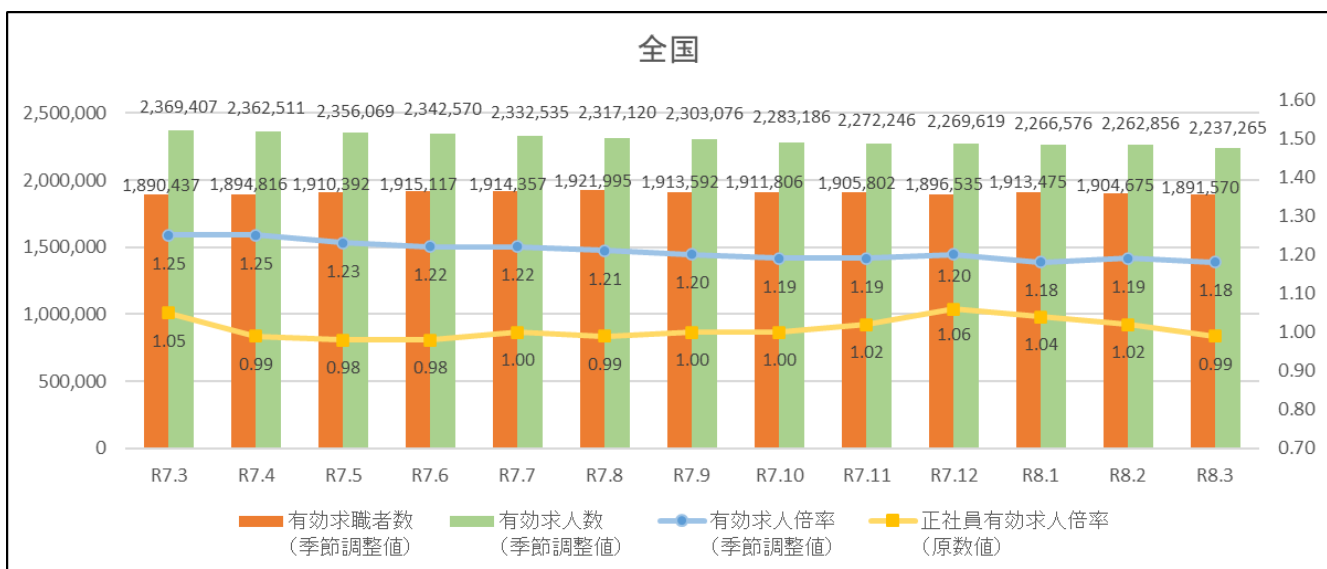
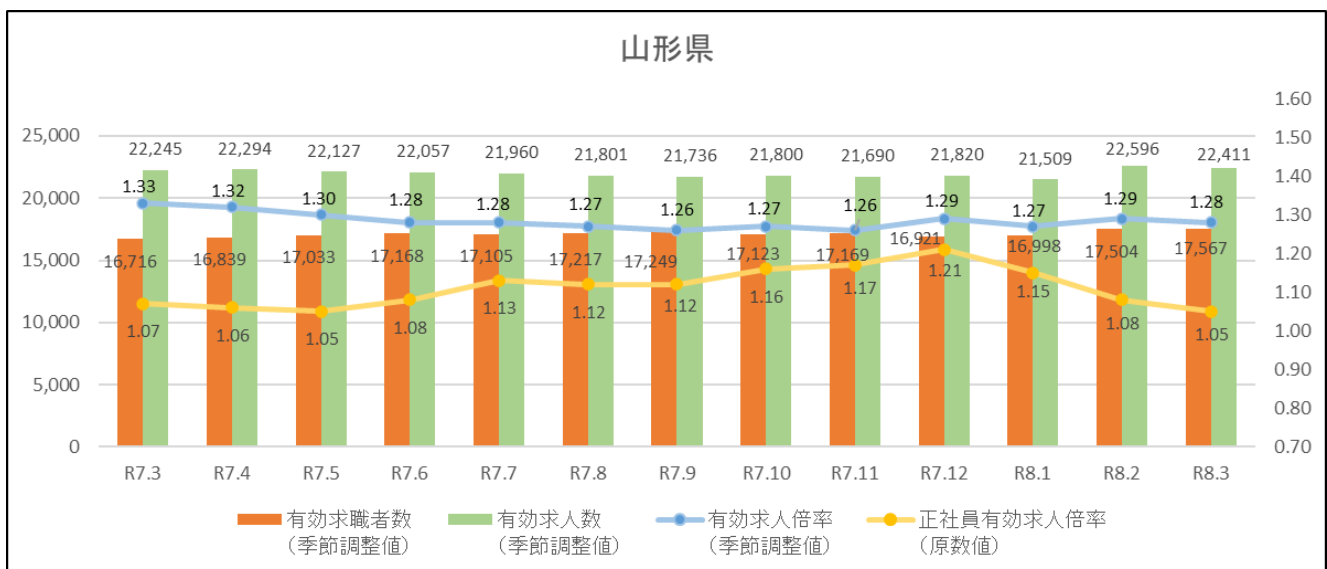
令和 8 年 3 月の県内の雇用情勢について

山形労働局が公表した標記の件によると、県内の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.28倍となりました。

求人数は、物価高騰、最低賃金改正などの影響で企業の採用姿勢が慎重なままであることから減少した一方、求職者数は、物価高騰を背景に、収入改善を目的とした転職活動が活発であることなど反映して増加しました。

また、山形県内の雇用情勢は、持ち直しの動きに弱さがみられることから、今後とも、物価高騰等が雇用に与える影響に留意する必要があるとしております。

なお、全国の有効求人倍率は、前月を0.01ポイント下回る1.18倍となりました。



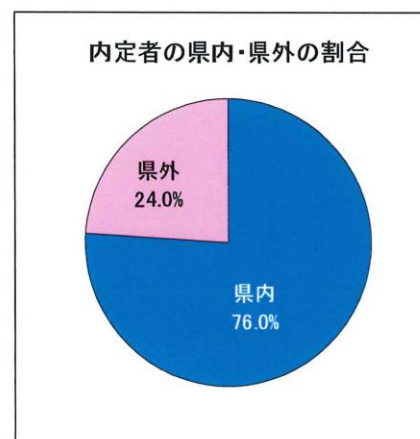
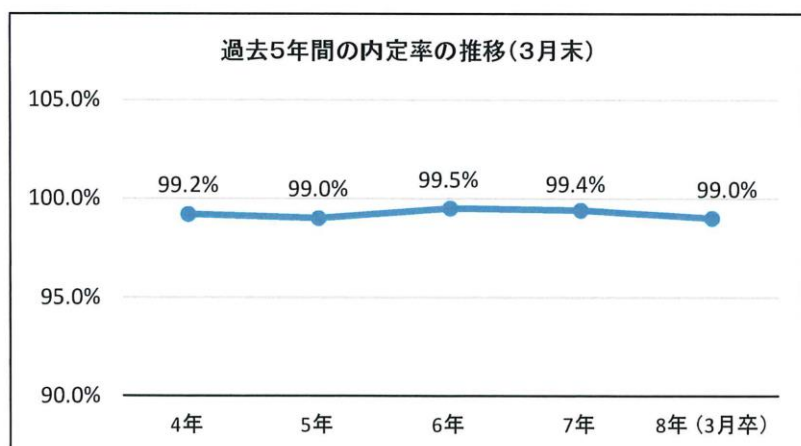
(注) 厚生労働省及び山形労働局の発表資料による。

令和8年3月新規学校卒業予定者の職業紹介状況（3月末）について

－概 要－

【高等学校】

1 求人数（県内）	5,627人	前年同期比	2.9%（169人）減少
2 求職者数	1,773人①	前年同期比	0.8%（14人）減少
うち県内求職者数は	1,348人②	前年同期比	4.1%（57人）減少
※ 求職者の県内割合は 76.0%（②/①）			
3 求人倍率（県内）	4.17倍	前年同期比	0.04ポイント上昇
4 就職内定者数	1,755人③		
うち県内就職内定者数は	1,333人④		
※ 内定者の県内割合は 76.0%（④/③）			
5 就職内定率	99.0%（③/①）		
うち県内内定率は	98.9%（④/②）		



【大学等】

1 就職内定率				
大 学	98.5%	(前年同期	98.9%)	0.4ポイント低下
短期大学	99.1%	(前年同期	95.4%)	3.7ポイント上昇
高等専門学校	100.0%	(前年同期	98.9%)	1.1ポイント上昇
専修学校	96.7%	(前年同期	98.9%)	2.2ポイント低下

出典：山形労働局「令和8年3月新規学校卒業予定者の職業紹介状況（3月末）について」